



1991年(平成3年)
4月14日
*年4回発行
*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎ 98-4500

『故郷の家』お年寄りが大喜び

熱唱慰問「赤坂台の橋幸夫」

ほのぼのの会奉仕活動「番外編」

前号でお知らせしたように、さと祭り」で大人気の「赤坂 さんが「木曾節三度笠」「杵
ボランティアグループ「赤坂 台の橋幸夫」こと若木甲三 さ 掛時次郎」「潮来笠」「おけ
ほのぼのの会」は、在日韓国人 ん(五丁)に特別参加してい さ唄えば」など、お年寄りが
老人ホーム「故郷の家」(堺 ただき、二月三日、慰問の 大好きな懐かしのメロディの
市松尾)で奉仕活動をおこな ひとつときを企画しました。 数々を自慢のどで披露した
っています。 『赤坂台ふる あのお馴染み旅鴉姿の若木 ところ、ヤンヤンヤの大喝
采。時間が短いとの苦情が出
たほどで、大変よろこんでい
ただき、本当にやってよかつ
たと、ほのぼのとした気持ち
の一日でした。



熱 演 中 の 若 木 さ ん

当日は若木さんのほかに若木夫人、校区福祉協議会の為村会長、ほのぼの会から手拝さん、篠塚さん、藤田さんが参加しました。

青少年育成と高齢化対策

本会新年交礼会・総会

恒例の赤坂台校区福祉協議会新年交礼会並びに総会は、一月二七日（日）午前九時半から、本協議会を構成する校区の各団体・機関の代表者多数の参加を得て、赤坂台自治会館で開催されました。

続いて、出席の各代表者からそれぞれ活動の現況や意見の発表があり、校区の協力態勢を力づよく感じる総会でした。

ボランティアグループ

「赤坂ほのぼの会」

皆さんの参加をお待ちしています。お尋ねは、左にお電話ください。

◎ほのぼの会代表・手拝康子

さん（九八一五七一）

◎ボランティア企画委員会代

表・上畑浩三さん（九九一

五四三七）

◎赤坂台校区福祉協議会事務

局（九八一四五〇〇）

その一環として本年度も月に「子供カーニバル」を開催することを提案、また福祉ボランティア活動の一層の拡大への協力を要請、いずれも満場一致の賛同を得ました。つぎに中辻連合自治会長よ

福祉協議会では、このほどコピー機を購入しました。キヤノンNP二五五型で用紙カセットが引出し式、場所をとらないコンパクトタイプです。堺市社会福祉協議会「地域福祉活動」から五〇万円の補助金をいただいたのです。この「助成金」は堺市が五億円の基金を拠出し、その果実で地域福祉活動を助成するもので、その第一回配分を申請して認められました。

福祉活動

コピー機購入

園の事

これまで保育園のコピー機を使わせていただいたり、役員個人の負担など、ご迷惑をかけたかもしれませんが、これ解消することになります。機械は管理の都合で保育園の事務所に置かせていただき、使用規定をつくって本会の構成各団体にも（有料で）使用していただけます。詳細は追って各団体あてにご通知いたします。

下の写真のよ

紹介
うに自治会館内に本会の事務分室を設けて「赤坂ほのぼの会」に提供しています。気軽に立ち寄りください。



連合自治会のページ

平成2年度を終了して送って

赤坂台校区のみなさんに、ご協力いただきましてありがとうございます。とうございました。

お陰さまで、平成2年度も無事、終わることができました。

ここで、この一年間をふり返り、事業の概要を、お知らせ致します。

あの場面、その時の事など思い出していただければ、幸いです。

主催行事

一、ふるさと祭り

従来の盆踊りを中心に、より多くの住民の参加を計るため、種々のイベントを企画するとともに、赤坂台ふるさと

祭りと名称を変えて実施致しました。

八月十一、十二日の両日にわたり、会場も第一、第二、第三に分け開催しましたが、

住民参加の新舞踊、扮装しての歌謡ショー（赤坂台の『橋幸夫』）、アペティート協賛

のダンスショー、福引きの企画に加えて、抹茶席も設け、好評をいただきました。

又、住民各位のご協力により抛出して頂きバザーも実施しました。

主催者としては、従来にならぬ盛り上がりを見せたものと考えております。

バザーの企画、実施にあたり、つた婦人委員会では、この売上金を、高齢者との交流を計る、信楽方面のバスツアーに

充当し、参加の高齢者各位には、一日を、おおいに楽しくご満足頂いたものと考えております。

ふるさと祭りの開催にあたり、猛暑の中、住民各位に何かとご協力をお願い致しましたが、紙面を借りまして厚く、お礼申し上げます。

又、協賛頂き、舞台の設営とダンスショーを提供されたアペティートを始め、赤坂台

専門店街及び赤坂台医療センターの地域内の各位にも、多分のご協力を頂き、重ねて厚くお礼申し上げます。

二、市民オリンピック

第十六回市民オリンピックは、十月十日（体育の日）に堺市立金岡競技場を中心にして開催され、当校区からは、綱引男女が新たに参加して、従来の、ソフトボール、バレーボール、卓球、ゲート

ボール、小中学生一〇〇m、四〇〇mリレーを加えた総勢九一名の選手団が参加しました。

当日は、天候にめぐまれ、校区代表として実力を発揮し好成績をあげました。

女子バレー、卓球ブロック優勝、陸上中学男子一〇〇m全市二位、綱引女子ブロック三位の記録でした。

後援事業

一、日赤社資募集（五月）

二、市民検診（五月）

三、胃がん検診（八月七、八、十、二十日）

四、共同募金（九月）

五、赤坂台子どもカーニバル（十月二十一日）

六、年末助け合い運動

主な事業のみを挙げましたが、今後とも校区連合自治会の活動にご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

豊かな老後

大阪府社会福祉協議会主催の福祉活動指導者研修会が、一月二五日、二八日、二月七日に大阪社会福祉指導センターで開催され、赤坂台校区福祉協議会から為村会長、山内理事、早川理事の皆さんが出席されました。以下はその報告です。

充実しているケア・サービス

一月二五日に『北欧（デンマーク）に学ぶ豊かな老後』を聴講、講師は阪南中央病院内科医長の岡本祐三氏。

まず日本社会の急速な高齢化にともなう「ねたきり老人問題」が深刻になっている現状が説明されました。

今後は訪問サービスによる「在宅ケア・サービス」と「施設ケア・サービス」との二本柱が必要とのこと。その面で北欧の制度は先進的であり、

二月七日に『デンマークに学ぶ本物の福祉』を聴講、講師は日本福祉大学助教授沢田清方氏。

福祉意識の大転換を

は平均五二%、社会保障費を加えると六二%。日本の税負担は平均二六%で少ないようだが個人負担の医療費・住宅費・教育費を含めると五二%に達する。

だそうである。これには考えさせられた。〔為村収二郎〕

女性の活躍に感銘

一月二八日、大阪府福祉部 週一六時間以上働けば常勤なみに保障されることがそれを支えているとのこと。もう一つ感心したのは福祉施設の設備が立派なこと。老人ホームはすべて個室、費用は年金の一五%以内、個人の家具を持ち、家族の写真を飾

見ながら聴きました。まず驚いたのは、デンマーク老人福祉の最前線で活躍しているのが、ほとんど女性。一、ナースコールで安心できる。本当に豊かな老後だと思

いました。（山内しげ子）

老人性難聴とは

いつまでも元気で、眼も見え耳もよく聴こえて、人生を楽しく生きたいと万人は願うものです。しかし、遅かれ早かれ、老化現象は確実に忍びよってきます。

加齢にともなう聴力の低下を老人性難聴と呼び、年齢とともに否応なしに起こってきます。多くの場合は急に難聴になるのではなく、年齢が高くなるにつれて聴力が低下しますが、内耳や頭蓋内にある聴こえの中枢神経の老化が原因と言われています。

その結果、どの周波数の音も聴こえが悪くなりますが、とくに高い音（高音域と呼ばれる）が悪くなります。しかし、日常生活の会話では、そんな高い声を使うことはありません。そして、大部分の人は、補聴器を必要とするほど

ではありません。

補聴器の使い方

老人は、他人との対話ができなくなる孤独に陥りやすく、目が見えないことより辛いものです。難聴の進んだ人には補聴器の装用がよいでしょう。聴力検査をうけ、平均聴力と呼ばれるものが五十五

立たせるのが補聴器の役目です。

老眼の人が老眼鏡を使うと直ちに物がよく見えますが、補聴器をうまく使いこなすためには訓練教育が必要です。したがって、あまり不自由になつてから使用しはじめると、少し不自由を感じはじめ

老人と難聴



日高悦子

デシベルを越えると補聴器が必要と考えられています。

たぐらいで使いかけて慣れてもらうのがいいようです。

最近の補聴器は改良され、老人性難聴にも効果が得られるようになりました。しかし補聴器は聞こえそのものをよくすることは出来ません。障害を少しでも軽減させ、より豊かな社会生活を送るのに役

大切なことは、本人が他人の話を聞くという意欲です。自分の意見を述べればかりで孤立した状態になるまえに、補聴器の試用が望まれます。

周囲の協力が大切

次に、老人の周囲の人々、

ことに家族が老人にたいして協力することも大切です。

老人には聴力の低下のほか、理解速度の低下もあります。「音が聞こえるけれども、話がわからない」「聞き間違いが多い」

「初めての人や早口の人の言葉がわからない」などと老人はよくおっしゃいます。

補聴器装用者にかぎらず、老人にたいしては、できるだけゆっくりと歯切れよく、また低い声で話をしてあげる必要があります。大声でゆっくりと繰り返すだけでなく、適当なほかの言葉で言い換えてあげたり、こうした心遣いが家族や周囲の人々に求められるのです。

*文献『老人病と耳鼻咽喉科』

金原出版

（赤坂台医療センター）

『日高耳鼻科』院長）

賛助会員を募ります

老人介護者（家族）の会

堺市社会福祉協議会では、うけたり、そしてなによりも「堺市老人介護者（家族）の会」を育成しています。精神的に支えあえるように、この会を役立てるためです。

家庭でねたきり老人を世話している人たちが、介護の仕方方を学んだり、情報を交換したり、介護機器やおむつ等の資材を共同購入したり貸与を

連合子ども会 記念大運動会

三月二一日（春分の日）、赤坂台校区連合子ども会発足一五周年を記念して、保護者手づくりの大運動会を小学校グラウンドで開催、やや寒い日でしたが、親子で楽しい一日を過ごしました。

父母の有志で実行委員会を

一月の校区福祉協議会総会の席上でお願ひし、以下の四〇名（四一口）の方に入会いただきました。高齢化がすすむ今日、住民相互の助け合いの精神で皆様のご入会をよろしくお願ひ申し上げます。

詳しくは事務局（保育園）

佐藤（九八）四五〇〇まで

お尋ねください。

※賛助会員芳名（敬称略）

（一丁）徳永勉・村瀬貞子・

高橋幸吉・堀田花枝・河原悦

子

（二丁）松井彬・安部孝・佐

々木秀夫・佐藤祐弘・城素子

（三丁）和歌宏允・上畑浩三

・山崎供治・手拜康子・児島

久子・石上直・毛利敏彦

（四丁）中辻雅郎・福土敦彦

・町田武忠・斎藤喜久子

（五丁）為村収二郎・山川仁

・植木康夫・四谷任・若木甲

三（二口）・夏川一輝・塩見

完二郎・妹尾正雄・福原みち子・篠塚多美子・窪野繁子・渡辺あやめ

（六丁）河井忠・泉谷克己・

辻林茂・松島利治・山内しげ

子・早川泰史・武田佳子

◆◆編集余話◆◆

★今年も赤坂台の桜の名所、

三丁九番の古木たちが満開。

長年の風雪に耐えて春の盛り

を咲きほこる姿に感動さへ覚

えます。樹の手入れにご苦労

いただく地元自治会に感謝し

ます。★選抜高校野球初出場

「浪速高」の野球部長名越英

治さんは赤坂台の住人、校区

の体育指導委員としても活躍

されていますが、しばらくは

甲子園のほうに忙しそう。健

闘を祈ります。★「ハロー」

への投稿をお待ちします。内

容自由、保育園のポストへど

うぞ。（M）